

外国人 × 防災 × 協働

～防災を事例に課題達成型の 日本語教育を再考する～

現在、日本には約250万人の外国人が暮らしており、外国人と防災については地域の課題となっています。2011年の東日本大震災において、「災害多言語支援センター」の運営、ボランティアコーディネートを担当した菊池哲佳氏を講師にお招きし、体験談を伺います。地域と協働した日本語教育を進める上で、必要な視点を「外国人と防災」というテーマから考えます。

※本講座は、地域と協働して行動・体験型の教室を運営する「地域多文化コーディネーター」の養成講座のプログラムの一環として開催するものを一般公開で行うものです。

■講師 **菊池哲佳氏**
(多文化社会コーディネーター/
公益財団法人仙台観光国際協会)

■日時 2018年
10月28日(日) 10:00～12:00

■場所 岡崎市民会館中会議室A (岡崎市六供町出崎15-1)
・駐車場(無料)あり ・名鉄東岡崎駅→名鉄バス2番線乗り場→筆田公園前→徒歩約5分

■参加費 一般：1,000円 会員：無料 (当日入会も可)

■定員 20名

■申込み viva.okazaki@gmail.com
件名に「Vivaつながるセミナー1申込み、本文に①名前、②所属、③電話番号
④参加動機を明記の上、上記メールアドレスまでお送りください。

▶次回セミナー
スケジュール

12/9(日)

「外国にルーツを
持つ子ども」
講師：結城恵氏
(群馬大学)



12/16(日)

「日本語教育と
まちづくり」
講師：中脇健児氏
(場とコトLAB)



主催：Vivaおかざき！！

後援：岡崎市

◆団体概要◆2010年に設立し、外国人住民向けセミナーや地域住民との交流イベントなど、地域の多文化共生を進める活動を開始。2015年より『文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業地域日本語実践プログラム(B)』を受託。2017年には、内閣府「子どもと家族・若者応援団」特命大臣表彰。年間のべ200名ほどが教室に通っている。